

(6) 国際関係学における授業モデルの検討

サイバー・キャンパス・コンソーシアム国際関係学グループは、22年6月、9月、23年3月の3回開催し、学士力の実現に求められるICT活用の授業モデルの検討を行った。

世界中の大学がネットを通じて世界の動向を学ぶ(メガバーシティ)動きがあることを踏まえ、一世界市民として、自己や社会との関連付けができ、国際社会に通用する能力を発揮できるような授業デザインを3例とりあげることにした。

一つは、グループで国際問題と自己との関連付けを考え、議論し、学びをLMS等の上で公開し、意見交換する中で学びを深める授業モデルとした。

二つは、授業中に学生の反応を電子掲示板やツイッター等で確認し、発表や相互評価を行うとともに、学習成果を大学間や社会にWebなどで公表することで、外部の意見を取り入れて振り返り学習する授業モデルとした。

三つは、国際ロールプレイ、メガバーシティ、ユネスコのサイバースクールバスなどの国際的な学びに参加することで、グローバル社会に関与できる能力を身に付けさせる授業モデルとした。